

稲沢市中小企業振興会議 第2回地域資源発掘ワーキンググループ 概要報告

日 時 令和8年1月15日（木） 午後4時～5時30分

場 所 稲沢市産業会館 大会議室

出席者 市、観光協会、商工会議所、市内事業者・有志等

1 水谷事務局長あいさつ

第1回の議論を踏まえつつ、これに囚われすぎないように市民、事業者又は行政の立場から様々な意見・アイデアを出してほしい。

2 第1回ワーキンググループの振り返り

(1) 稲沢市中小企業振興基本条例と地域資源発掘グループの目的について

稲沢市の中小企業を活性化し、市をもっと活気あるまちにするため条例を制定した。当ワーキンググループでは、地域の資源を発掘し、地域の魅力に変え、ブランド化を図ることを目的としている。

(2) ポータルサイトの運用について

登録記者が記事を投稿する形からグループLINEへの投稿を事務局がアップロードする形へ変更したい。

(3) 事例紹介とフリーディスカッション

① ヤバ稲オンパク

「オンパク」とは、別府温泉の温泉博覧会から生まれた言葉で、その土地ならではの特別なプログラムを通してまちや人の魅力に出会えるイベント。

② 「自転車で巡る国府宮」

国府宮駅からレンタサイクルで、B級グルメやお土産も楽しみながら旧市街地や歴史スポットを巡るプログラム。

③ 「稲沢グリーンツーリズム」

植木のまち稲沢で、プロのレクチャーで人気の植木やガーデニングのコツを学び、お気に入りの植物を購入できるプログラム。

④ フリーディスカッション

オンパクを広げて深めるグループ運営がゴールなのか？

ライフスタイルの言語化により稲沢市をオンリーワンのまちにする。

オンパクをきっかけに事業者が儲かる仕組みを作る。

3 今後の進め方について

3か月に1回リアル会議を開催したい。

パイロット事業として、農業、グルメ・飲食及び観光をテーマに実施したい。

2月19日（木）に観光まちづくりラボ全体会議が開催されるので参加されたい。